

- 1. 挨拶・趣旨説明
- 2. 景観点検
- 3. ワークショップ
- 4. 意見交換会

四国風景街道協議会

【四国風景街道 魅力アップ研究・交流会

第1回「光まわり回廊～阿南～」が開催されました

●とき 2010.2.16(火)
●ところ 阿南市内



ご挨拶

日本風景街道の四国ブロックの活動の一環として、「四国風景街道 魅力アップ研究・交流会」第1回「光まわり回廊～阿南～」が、徳島県阿南市において開催されました。

四国風景街道協議会では、四国各地で活動する風景街道のパートナーシップの支援策のひとつとして、各ルートの風景の魅力度の向上を目指し、また四国ブロック 12 団体のパートナーシップの方々が一室に会し交流を深めることによって、各ルートの活動の活性化が図られるよう、今回の企画を実施しました。この研究・交流会は「景観点検」をその主軸として実施するもので、皆様方の活発なご意見がワークショップ会場で出されていました。今後もこの活動は継続して実施していく予定です。

概要

徳島県の阿南市で活動されている「光まわり回廊～阿南～」にはさまざまな魅力がいっぱいあります。そのなかでも今回は、このルートの活動コンセプトである古事記ゆかりの場所を巡りながら、風景街道の景観点検を行いました。総勢 47 名というたくさんの方々に参加されたため、ルートを二種類にして、A コース、Bコースに分かれて廻り、その場所の魅力やもう少しこうすればもっと良くなる、といった点などをチェックして廻りました。古事記ゆかりの地を巡る「景観点検」を実施しました。その後、会場に戻ってワークショップによる検討を行って、それぞれのコースの地域資源の良さや魅力度アップのために改良すべき点などを話し合いました。この結果を受けて光まわり回廊協議会の会長と副会長が、感想を述べ総括としました。

- A コース◆津峯山(つのみねさん)～賀志波比売神社(かしたひめじんじや)～八杵神社(やほこじんじや)～取星寺(しゅしょうじ)
- B コース◆津峯山～賀立神社(かたちじんじや)～蒲生田岬(かもうだみさき)～船瀬温泉(ふなせおんせん)からの眺望

景観点検

景観点検は、招かれた他のルートの方々や四国風景街道協議会の方々が、各地域資源 1 枚ずつのチェックシートを用いて、現地で「ルートのコンセプトとの整合」「居心地の良さ」「景観阻害要素の有無」「視点場や案内の状況」などをチェックしていくもので、それぞれが熱心に現場を確認し、チェックを行ないました。

ポイントは、「光まわり回廊～阿南～」の掲げるコンセプトが地域資源を通じて伝わっているかどうか、また美しい風景を阻害している問題はないかなどの厳しいチェックになります。もちろん阿南の方々も一緒に同行しますが、他のルートから来た「来訪者」の目でチェックすることが重要で、それが阿南のルート発展のためになり、逆に来訪ルートの方々もご自分たちのルートのことを振り返ることができるので相乗効果が期待できます。

Aコース・Bコースに分かれて二つのルートの景観点検を行いました。最初はA・B合同で津峯山に向き、津峯神社からの眺望や神社の佇まいなどのチェックを行いました。Aコースでは、その後も実際に神社等で祈祷を受けるなど、ルートの活動に直にふれる点検となりました。



Bコースでは、四国最東端の岬に健脚を競うように登って、そこから眺める風景の状況などを点検しました。また、Bコースに至る道路は改良が進みつつあるものの、地域資源に至るルートとしては、まだまだ改善の余地があるということで、これらを課題としてチェックしていました。



Aチーム No.1 調査地点 津峯山(つのみねさん)	
四国風景街道 景観点検チェックシート(その1)	
この場所の風景の印象は、風景街道のコンセプトをイメージしやすいか	◎非常に良い ↑ 1.コンセプトとのつながりがとてもはっきりしている <魅力アップの方法>
	2.コンセプトとのつながりがある
	3.どちらでもない
	4.コンセプトとのつながりがややわかりにくい
	×改良が必要 ↓ 5.コンセプトとのつながりが非常にわかりにくい
この場所らしさを感じるか	◎非常に良い ↑ 1.この場所らしさをとてもよく感じる <魅力アップの方法>
	2.この場所らしさを感じる
	3.どちらでもない
	4.この場所らしさをあまり感じない
	×改良が必要 ↓ 5.この場所らしさを全く感じない
居心地よく、落ち着きやすいか	◎非常に良い ↑ 1.とても居心地よく、落ち着きやすい <魅力アップの方法>
	2.居心地よく、落ち着きやすい
	3.どちらでもない
	4.やや居心地が悪く、落ち着きにくい
	×改良が必要 ↓ 5.とても居心地が悪く、落ち着きにくい
景観阻害要素(見ている場所と景色の前に邪魔なものはあるか)	◎非常に良い ↑ 1.邪魔なものは全くない <魅力アップの方法>
	2.一部邪魔なものがあるが、あまり気にならない
	3.どちらでもない
	4.一部邪魔なものがあり、やや気になる
	×改良が必要 ↓ 5.邪魔なものがあり、とても気になる

当日使用された景観点検チェックシートの一部

ワークショップ

景観点検終了後、室内の会場において、景観点検の際に書き込んだチェックシートをもとに、皆さんで意見を出し合い、風景街道の地域資源の評価を行うワークショップを行いました。「ワークショップ」とは、参加者が自主的に意見を出し合い、どのようにしたら、もっとこの風景街道ルートが良くなるか、ということについて意見を出し合う“研究会議”のことで、さまざまな手法があります。一般の会議では人数が多くなると慣れない方などはなかなか思ったご意見を言えないことがありますが、ワークショップ方式の会議では、皆平等にたくさんの意見を述べるすることができます。今回もさまざまなご意見が出されました。参加者の自主性が大切なので、意見をとりまとめグループ毎の発表を行うのもその場で選ばれたグループリーダーさんたちです。



ところで今回は、ワークショップの会場としては、少し暗めにライトを落としてありました。それは、光まわり回廊～阿南～のもうひとつの特色である「LED イルミネーションによるまちづくり」のLEDを会場に展示していたからです。なかなか不思議な会場の雰囲気の中、皆さんポストイットに感じた点を書き込んでいかれました。



まずはじめに、3つのグループ分けを行いました。それから、ポストイット(大きい付箋紙)を用いて、チェックシートを振り返りながら、それぞれの意見を書き込み、それを項目毎にとりまとめていきました。

このワークショップを熱心に行っている光景を阿南の方々も熱心に見守っていらっしゃいました。

そして、それぞれのグループの中から選出されたグループリーダーの方々の発表により、一日の感想や、「こうすれば阿南の風景街道はもっと良くなる！」というワークショップの成果を発表していただきました。



◆全体発表

全体発表では、さすがに景観点検らしく、けっこう厳しいご意見もありましたが、阿南をとりまく風景の美しさは好評でした。ワークショップで出された主な意見は次のとおりでした。

【魅力的な点】

- ・お寺とビュースポットを分離しているのがよい。
- ・地元の人が整備や維持管理にあたっているとすばらしい。
- ・山頂の風景がすばらしい。
- ・案内看板などがしっかり配備されている。



【全体的な意見】

- ・古事記に関する神社が魅力的であるが、専門的な知識が必要だと感じた。
- ・古事記と道との関係を解りやすく示せたらもっとよくなるだろう。周遊性やストーリー性を持たせるよう点をつなぐ工夫に期待。
- ・看板だけでは解らないところもあるのでガイドなどを設けることが望ましい。

【魅力度向上のための課題点】

- ・津峯山には景観阻害要素が多いため自然の風景に合わせたカラーリングが必要。
- ・蒲生田岬は、景観・自然の観点からはすばらしいが、階段の安全性やゴミの多さを改善していければなお良くなる。
- ・初めて訪れる方が辿り着きにくく、目的地までの道が狭くカーブが多いのが難点だった。
- ・バリアフリーへの配慮やトイレを増やす工夫を！

ワークショップでは、最後の全体発表の際に集められたご意見を集約して発表することとなるので、とてもわかりやすいご説明をいただくことができました。



◆とりまとめ

各3グループの全体発表を受けて、今回、第1回の魅力アップ研究・交流会の受け手側となった「光まわり回廊～阿南～」の新居会長と三村副会長から、一日を総括するお言葉をいただきました。

ワークショップの発表を聞いた結果、思ったとおりであったこと、意外と思ったことなどがいろいろとあり、今後の風景街道の活動の参考にしていきたいとお言葉でした。

また、蒲生田岬の風景の良さを皆さんに解っていたいただき、四国の「四大岬サミット」を実現したいという力強いご発言もいただきました。今後の皆様のご発展に期待を寄せるところです。



お問い合わせ

●四国風景街道協議会

国土交通省 四国地方整備局 道路部 地域道路課内

●TEL087-811-8323 ●FAX087-811-8421 ●mail shikoku-fukeikaido@skr.mlit.go.jp